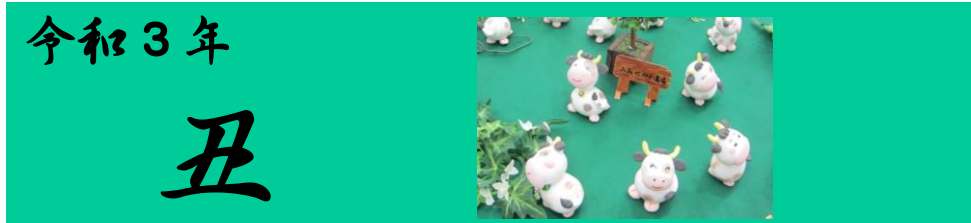


みっくら お知らせ版

令和3年1月15日発行 第329号
 発行：大瀬川活性化会議
 事務局：花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 (大瀬川振興センター内) 電話/FAX 45-6472



年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
 地区民の皆様には、いつもとは違った新年を迎えられた方も多いこと
 と思います。

令和2年は新型コロナウイルスの感染拡大とともに世の中が一変し、
 学校の休校、飲食店の営業自粛等により、米や野菜など、コロナは農畜産
 物の売り先を見失った農家にも大きな影響を及ぼしました。

事態が収まらない中、大雪が降り続いて迎えた新年ですが、日一日と
 夜明けは早まり空が明るくなって、春になれば必ずや雪解けがやってき
 ます。皆様にはこの一年、健康に十分注意され引き続き健康管理に努め
 て頂きたいと思っております。

大瀬川活性化会議もコロナウィルスに負けることなく、生きがいのある
 地域づくりをめざしてまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力
 をお願い申し上げ新年に当たってのご挨拶といたします。

大瀬川活性化会議 会長 熊谷秀夫

施設の利用制限期間の変更について

花巻市では、令和3年1月31日までの間、「新型コロナウイルス感染拡大
 による市関連施設の利用制限ガイドライン」(以下、「ガイドライン」という。)
 に規定するレベル3を継続するとお知らせしておりましたが、令和3年1月7
 日に新型インフルエンザ特別措置法第32条第1項に基づく「緊急事態宣言」
 が政府より再発令されたことから、利用制限期間を「令和3年1月31日」か
 ら「当面の間」へ変更することといたしました。

○レベル3設定期間： 令和2年11月21日(土)から「当面の間」

○新型コロナウイルス感染拡大による市関連施設の利用制限ガイドライン 【振興センター】

レ ベ ル	利 用 制 限
レベル3 【県内市内感染拡大期】 ・市内で感染拡大の恐れがある場合 ・県内で感染拡大の恐れがある場合	・対象制限：市民・市内団体 ・開館制限：土日祝日は閉館 ・時間制限：9時～17時(夜間は閉館) ・利用人数：人数制限あり (対人距離2m最低1m、50名まで) ・利用時間：2時間以内 ・そのほか：飲食・調理不可 ※管理者(コミュニティ会議)が必要と認める場合は休館。

【地区社会体育館等】(改善センター)

レ ベ ル	利 用 制 限
レベル3 【県内市内感染拡大期】 ・市内で感染拡大の恐れがある場合 ・県内で感染拡大の恐れがある場合	レベル1、レベル2と同じ ・対象制限：市民・市内団体 ・開館制限：なし ・時間制限：9時～21時(施設による) ・利用人数：人数制限あり (対人距離2m最低1m、50名まで) ・利用時間：制限なし ・そのほか：飲食一部可(弁当は可) 調理不可 (調理施設がある場合) ※指定管理者(コミュニティ会議)が必要と認める場合は休館。

大瀬川地区市政懇談会テーマにかかる花巻市の取組み状況について

開催が中止された市政懇談会ですが、大瀬川地区から2つの懇談テーマを提出し、市から回答がありましたのでお知らせいたします。

1 大瀬川地区基盤整備事業にかかわる課題について

大瀬川地区では国、県、市の補助をいただき大区画の基盤整備事業が進められており、9月には区画計画の図面閲覧に100名以上の方が閲覧し、地区民の関心の高さが伺われた。この事業の完成は早くても10年後とのことであり、現在農業に従事している方々はほとんど働けなくなってくる。せっかく大区画になっても、働く若い後継者がいないという後継者不足が地域の大きな課題である。そこでITを利用したスマート農業の出番になると思う。この事業の推進、後継者の発掘のためにも、スマート農業の研修や、地域組織の在り方など、地域にあった事例を交えながら情報の提供について市の考えを伺いたい。

市では平成28年度に東北地域の自治体・JAで初めてRTK-GPS地上基地局を3地区（石鳥谷地区、宮野目地区、太田地区）に設置、平成29年度に地上基地局を1地区（南城地区）に設置する等、他の地域に先駆けて精度の高いスマート農業技術の活用が可能な環境の整備を行ってまいりました。

平成29年度から国庫補助事業を保管する事業として市単独事業の「花巻市農業用ロボット技術・ICT機器導入支援事業」を創設し、RTK-GPSガイダンス・自動操舵システムの導入に加え、農業用ドローンの機体導入やロボット草刈機の導入について補助率3/10（交付限度額100万円）、また、農業用ドローンの教習費について補助率1/2（交付限度額10万円）を支援しております。なお、本事業の活用につきましては、本事業の交付要件等を満たしているか事前に審査しております。そのため事業を計画している段階（機械を導入する場合は見積り合わせの段階、農業用ドローン教習の場合は教習を受講する前）で事業の申請手続きが必要となります。

当事業や国庫補助事業を活用し、現在まで累計で40を超える農業経営体がスマート農業機器を導入しておりますが、導入した法人の中には、地域外から若い従業員を積極的に雇用し、その若手従業員を中心にRTK-GPSガイダンス・自動操舵システム等のスマート農業機器を活用しているという事例がございます。

また、農業者がよりスマート農業の技術に触れることができる機会を増やすため、市では平成29年度より自動操舵システムや農業用ドローン等のスマート農業機器による農作業実演会、体験試乗会、シンポジウムを主催し、昨年までの合計で15回実施しております。

今年度につきましては農作業実演会と体験試乗会を合わせまして、4回ほど開催しており、うち1回は中山間地域で開催したものです。近年は、市単独事業を活用して、農業用ドローンの機体導入や免許の取得を行う中山間地域の農業経営

体が増加傾向にあることから、中山間地域においてスマート農業への関心は高まっているものと認識しております。

市としては、中山間地域におけるスマート農業の有効性について実証実験を行うとともに、農作業実演会等を通じて、皆様へスマート農業に関する情報提供を行ってまいりたいと考えております。

農業者の高齢化等により労働力の確保が喫緊の課題となる中、スマート農業の普及により機械作業の効率化や省力化、オペレーターの労働負荷の軽減が期待できるものです。また、担い手や後継者不足の中、知識と経験の少ない農業者や新規就農者であっても作業をこなすことができるため、雇用の確保、若手の農業への新規参入の一助になるものとされています。

コロナ禍に対応する農作業実演会、体験試乗会、シンポジウムの内容や開催方法について検討するとともに、スマート農業につきまちは引き続き積極的な支援を行ってまいりたいと考えております。

担当部長：農林部長 菅原 浩孝

担当：農政課長 藤原 康司（内線6-291）

2 大瀬川運動公園の環境整備について

①この地にあった大瀬川小学校は、昭和55年4月に石鳥谷小学校と統合し、約40年経過したが、多くの子供たちが利用してきたプールも老朽化などの理由により本年から使用停止となった。今後、プールの解体と解体後の跡地活用について市としての考え方を伺いたい。

大瀬川運動公園プールは地域の方々の御協力により、地区の小学生などに長い間利用していただきましたが、ろ過機やプール本体の老朽化に伴い、安全に利用できる状態を維持することが困難になったことから、大瀬川地区PTA 保護者や地域の方々との協議を経て本年度から利用を停止したところです。来年度以降、小学生の利用については石鳥谷小学校のプールを利用することで学校の了解をいただき、運営面においては石鳥谷小学校PTAの御配慮をいただいたと伺っております。

運動公園の安全かつ衛生的な環境を維持するため、プールは計画的に解体し、跡地は整地したいと考えておりますが、活用について貴会においても検討いただきたいと思います。

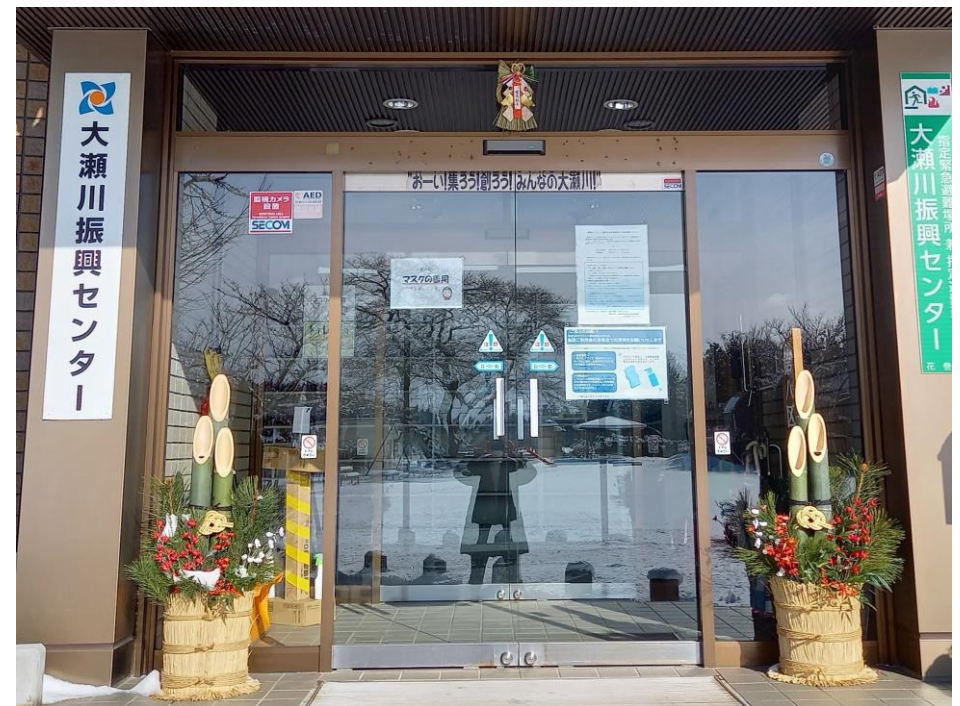
②過去に（石鳥谷町時代）八日市運動公園と同時期ごろに施工された広場の暗渠整備がほとんど機能を果たさない状況にあり、八日市では水取り作業が不要な雨でも大瀬川では必要なことがあるので、プール解体と合わせて広場暗渠の調査・整備をすることにより地域環境の整備が図られると思うかがか。

大瀬川運動公園の暗渠整備は、平成5年度にトイレや日時計花壇、出入口の舗装など旧大瀬川農村公園の整備の際に実施しておりますが、今後、暗渠機能の状況や運動公園の利用状況などを調査して必要性を検討しますので、ご協力くださるようお願いいたします。

③振興センター駐車場と隣接した北側に県管理のチェーン脱着所があるが、両駐車場は普段から多くの利用者があるため、運動公園の屋外トイレも多くの利用者がある。しかし、屋外トイレは12月から3月は冬季閉鎖となるので、冬季間も利用可能になれば、花巻市民に限らず多くの方々から感謝されるものと思うがいかがか。

屋外トイレは運動公園利用者のための施設として設置し、地区の方々が利用される4月から11月までの供用期間として、貴会に管理を委託しておりますが、冬季間は凍結防止のため管理が非常に困難となることから閉鎖しておりますので、ご理解いただきたいと存じます。

担当部長：石鳥谷総合支所長 八重樫 和彦
担 当：石鳥谷総合支所地域振興課長 藤原 良浩（内線 9-30-206）



え？
のし餅
!?

この冬は本当に雪降りの日が多いですね。事務室の窓から運動公園に目をやると、端っこにチョットおもしろいものが見えました。東家の屋根に積もった雪が垂れ下がり、暮れに作ったのし餅を連想して美味しそうだな・・・なんて思ってしまいました。雪はさまざまな風景を見せてくれます。が、『毎日ゆるぐねなァ、やんべこれにせじゃ』ですよ。



今年がきっと
良い年になりますように
8区の板垣幸寿さんは、毎年大瀬川振興センターに門松を寄贈して下さいます。
『(世の中が)こんな状況だから迷ったどもす・・・』
遠慮がちにおっしゃいましたが、いえいえ、様々な日常を諦めてきた令和2年、なんでもかんでもコロナに遠慮することはないのでは？知恵を絞ってできることをすることも、この新型コロナウィルスに負けないための手立てだと気付きました。板垣さん、ありがとうございました。